

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	看護の基本技術Ⅱ (看護過程/記録・報告)	学 期	後 期	三浦 陽子 (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	看護の基本技術として、看護活動を系統的・組織的に実践できるための枠組みとなる看護過程展開を学ぶ。また、看護実践のプロセスを系統的に記録・報告するための基本的知識・技術を学ぶ。			
目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程の構成要素と各段階の相互関係について理解する。 2. 問題解決思考、クリティカルシンキング能力、リフレクション能力を理解し看護過程の展開に活かす。 3. 看護記録の意義と方法を理解して記録ができる。 4. 報告の意義と方法を理解する。 			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1 2~6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	(看護過程) 看護過程とは アセスメント 看護上の問題点の特定 計画 目標の設定 具体策 実施、評価 リフレクションシート リフレクションシート 電子カルテから情報 (記録/報告) 看護記録 看護記録/報告	看護過程とは アセスメント 看護上の問題点 計画、目標設定 具体策 実施の考え方、評価方法 目的 活用方法 情報収集の実際 看護記録の目的・意義 看護記録の実際 報告の意義と方法	講義 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義 講義 講義
教 科 書	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ (メヂカルフレンド社)			
参 考 文 献	事例と関連する疾患に関するテキスト			
評 価 方 法	成果物 10% 定期試験 90% 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。			
関 連 科 目	解剖生理学 病理学総論 病理学各論 看護学			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	協同学習を行います。チームのためにも自分のためにも学習してのぞみましょう。			
そ の 他 の 通 知 事 項	進行は理解の状況により変更することがあります。			